

2018-19年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

# Weekly Report Niigata



インスピレーションになろう

国際ロータリー  
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう



2018～19 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
若槻 良宏

新潟 RC 1 月第 2 例会 (2019.1.15) No.3265

## (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

## (2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様、こんにちは。本日は、例会の会場前にて、新年餅つき大会を行いました。新潟市中央区寄居町の「良寛堂」さんの協力を得て、臼と杵などをイタリア軒に持ち込んでの本格的な餅つきでした。ロータリアンのほか、米山奨学生のチャギーさん、長期交換留学生のレインさんも参加してくれました。

まず、蒸したてのもち米を、臼に移し、杵でもち米を潰してこねます。腰を入れて体重をかけて臼の周りを回りながらもち米を潰すのですが、これがけっこうな重労働でした。ここできちんと潰さないと、杵でついたときにもち米が飛散してしまうので、しっかり潰す必要があるとのことでした。続いて、いよいよ杵で餅をつきます。杵を力いっぱい打ち付けるのではなく、高く持ち上げた杵を、その重さを感じながら自然に落とすイメージで、杵の先の方を握っている手を支点にペツタンとつづくのがこつとのことでした。つきたての餅は、とても甘くて美味しかったです。

ご案内のとおり、餅つきは日本の伝統文化です。お正月には、新年を司る年神様にお供えするために鏡餅を用意しますが、その鏡餅を作るために年末に餅つきを行います。その起源は平安時代からといわれています。私も、祖母の実家が農家でしたので、幼少のころ、毎年年末になると、家族で餅つきをし、鏡餅を作っていたことを覚えています。また、餅には、神様の魂が宿り、生命力が与えられているとして、新年を迎えてからも、おめでたいという理由で餅つきが行われ、新年だけではなく、年中おめでたい時には、餅つきが行われる風習が続いているのだそうです。また、餅つきには、家族や団体の連帯感を強め、喜びを分かち合うという社会的意義もあるとのことでした。

本日は、新年のお祝いのほか、留学生に日本の伝統文化を体験してもらいたいという思い、そして、私たち新潟ロータリークラブの連帯感を強めて、良い1年にしたいという思いで、餅つき大会を企画いたしました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) 米山奨学生

ソド チャンドマニチメグさん挨拶・奨学金贈呈

(4) 一年交換学生

Rane Biekerさん挨拶・お小遣い贈呈

(5) ロータリーの友紹介（河西広報会報雑誌委員長）

(6) 委員会報告

・岡村親睦委員長より1月22日新年家族会ご案内

17:00 登録 17:30 開会 鍋茶屋

(7) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(新田 幸壽委員長)

武田 直己君 仙石 正和君

吉田 和弘君

青少年育成基金寄付発表(池上 茂樹委員)

池上 茂樹君 細野 義彦君

本間 彊君 田中堅一郎君

本多 晃君 樋熊 紀雄君

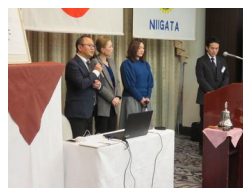
(8) ニコニコボックス紹介（武田 直己副委員長）

・小松 茂樹君 誕生日プレゼントのワインを頂いてニコニコ、職場に戻って、これを忘れてきたことにハラハラ、翌日イタリア軒に取りに行ってニコニコ。今年のプレゼントは「一粒で二度おいしい」これを飲んで「三度おいしい」プレゼントでした。有難うございました。

・石本隆太郎君 1月の第一例会で37年100%出席のバッチをいただき、ありがとうございました。

(9) 卓話「障害者雇用について」

(株)バウハウス 代表取締役 肥田野正明氏



(10) 1月15日例会の出席率 76.40%

会員数 93名（出席免除会員 9名）

出席者 68名（出席免除会員 5名を含む）

（2週間前は祭日）

1月29日の例会予定「会員スピーチ」

(株)新潟放送 代表取締役社長 佐藤 隆夫君

SMBC 日興証券(株)新潟支店長 池田 修人君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>